令和8年度
明和営農センターだより



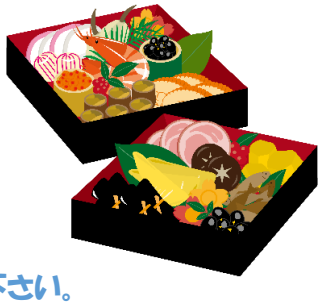
平素は、JA事業に格別なるご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和８年産米の集荷につきましては、１０月中旬をもってほぼ終了となりました。集荷数量につきましては、約３５，０００袋の出荷をいただきました。今年度の品質は白未熟が目立ち出荷当初から２等米が多く推移しました。2等の格付け理由は白未熟粒（乳白米）が最も多く、続いてカメムシ被害となっています。

本年もJAに出荷いただきました方に感謝申し上げます。次年度も宜しくお願い申し上げます。また秋冬野菜につきましては、長雨による定植の遅れから、生育は遅れ気味に推移しています。

今後は、中耕・肥培管理・防除等できる作業を実施していただき、収穫期を迎えていただきたいと思います。

お知らせ





○JAのおせち料理

毎年好評をいただいています。是非ご利用下さい。

※注文書につきましては、各支店及び営農センターに用意してございます。電話での注文もお受けしますので、宜しくお願いします。注文期日は、11月25日(水)までとさせていただきます。

○水稲培土・肥料・農薬の注文について

先般、配布させていただきました注文書の期日が、11月末日となっておりますので注文を希望されます方は、ぜひこの機会にご注文いただきますよう宜しくお願い致します。

☆組合員様の肥料農薬のご購入は、事業利用分量配当(予定)の対象となります。

○無料住宅診断実施中

JAでは、お住まいの無料住宅診断を実施しておりますので、お気軽にご相談下さい。



◎明和営農センター営業時間について

3月中旬以降の農繁期までは、下記の通りですので宜しくお願いします。

平　日　　⇒　午前8時45分～17時

土・日・祝日　　⇒　休日となります

※青果物集荷は、集荷日程表通り行います。

明和営農センター　→　☎0596-52-3047

裏面には、営農指導員だよりを掲載しておりますので、ご覧下さい。

営農指導員たより　11月

日中は暖かい日もありますが、朝晩は冷え込み、ずいぶんと秋らしくなってきました。これからは、冬へ向けて寒くなり季節の変わり目で体調を崩しやすくなります。体調管理には十分気を付けて栽培管理に努めてください。

水稲

今年の水稲についても、ジャンボタニシの発生があり、食害が見受けられました。来年以降の被害を減らすために冬の間から対策をお願いします。夏に生まれたジャンボタニシは、そのまま土中で越冬し、越冬貝は翌年の春、水田に水が入ると活動を再開し食害が始まります。そこで、冬の間に耕起し越冬中の貝を粉砕し土中から外へ出すことにより、凍死させます。耕起時は走行速度を落としロータリーの回転数を上げ浅めに耕すのがポイントです。



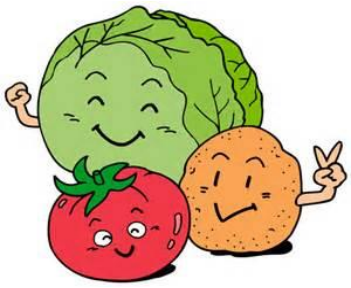

秋冬野菜

今年は、定植時期にあたる９月上旬から連日降雨があり、定植が９月中旬以降となった方が多数を占めました。そのため生育も遅れております。１１月の気温は平年並みか高い見込みで、降水量は平年並みか多いと予想されます。今後の生育にも期待出来そうですが、生育の遅れを感じるようであれば葉面散布剤の散布をおすすめします。

また、チョウ目害虫（ヨトウムシなど）の発生について、ピーク時に比べると減少傾向ではありますが、依然発生が見られていますので、下記のおすすめ防除を参考に防除をお願いします。

〇おすすめ葉面散布剤

光合成を高める　　⇒　　『ペンタキープ　ハイパー』
根張りを良くする　　⇒　　『ソイルサプリエキス』
※農薬散布時に毎回混用するようにしてください。



〇おすすめ追肥

燐硝安加里Ｓ６４６

病害虫発生状況

キャベツ・白菜・ブロッコリーなどの秋冬野菜において、昨年に続きチョウ目害虫が多い年となっています。気温の低下に伴い害虫の発生も減少傾向ですが、今後も注意が必要です。発生が見られたら速やかに、下記の剤を参考に防除に努めて下さい。

また、一部圃場ではアブラムシの発生が見受けられます。圃場を見回り早期発見・早期防除に努めてください。ねぎ類は、アザミウマ・ハモグリバエの発生に注意が必要です。白菜は、白斑病の発生しやすい時期になりますので、予防的に防除を実施してください。また結球前～結球初期にはアブラムシの防除を必ず行うようにしましょう。

〇おすすめ防除

ブロッコリー・白菜・キャベツ・レタス・なばな類・大根など⇒グレーシア乳剤
2000 倍

※農薬の収穫前日数は作物により異なるため、農薬のラベルを確認してください。



肥料・農薬など栽培に関するお問い合わせは



明和営農センター　５２－３０４７　まで　担当の営農指導員が対応致します。